

# 群馬県館林市・東京都福生市で発生が確認された サクラ・ウメ等を加害する外来種クビアカツヤカミキリ

日本大学 森林動物学研究室 <sup>きりやま さとし いわた りゅうたろう</sup> 桐山 哲・岩田 隆太郎森林総合研究所 研究企画科企画室 <sup>かがや えつこ</sup> 加賀谷 悦子

## はじめに

クビアカツヤカミキリ (クロジャコウカミキリ) *Aromia bungii* は中国においてモモ、アンズ、スモモ (呂, 1995; 張ら, 2000; 余・高, 2006; 馬ら, 2007; 王ら, 2007) に、侵入先のドイツ・イタリアにおいてスモモ、アンズ、サクラに穿孔被害を与え (BURMEISTER et al., 2012; GARONNA et al., 2013), 重要害虫として警戒されている。

日本では2012年に愛知県海部地域 (愛知県, 2013) (海部郡), 2013年に埼玉県草加市 (中村, 2013; 加納ら, 2014) より本種の成虫羽化脱出が見られ, 被害樹の根元付近に幼虫のフラスが多数発見された。被害を受けたウメ, ソメイヨシノの枯死が確認されている。

これらに加え2015年6月以降, 群馬県館林市・東京都福生市・大阪府大阪狭山市・徳島県板野町での本種の発生情報がウェブ上で報じられている。大阪府大阪狭山市での発生例については, 成虫およびサクラ被害木の発見 (杉本, 2015), 徳島県板野町・鳴門市での発生例については, 複数の果樹園での広範囲の被害, 成虫およびモモ・ウメ・スモモ被害木の発見 (徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所, 私信) がそれぞれ報告されている。今後本種の新たな発生地に関する報告が続くものと思われる。筆者らは今回, 群馬県館林市および東京都福生市での新たな発生地における被害状況の調査を行った。

本文に先立ち, 本報告・調査にご協力いただいた埼玉県生態系保護協会の加納正行氏, (株)建設技術研究所の野中俊文氏, 館林市役所, 福生市役所, 横浜植物防疫所の各位に感謝の意を表す。

Newly Discovered Populations of *Aromia bungii* (Faldermann), an Invasive Cerambycid Infesting Cherry and Japanese Apricot Trees in Tatebayashi, Gunma Pref., and Fussa, Tokyo Pref. By Satoshi KIRIYAMA, Ryūtarō IWATA and Etsuko KAGAYA

(キーワード: クビアカツヤカミキリ, クロジャコウカミキリ, ソメイヨシノ, ウメ, 生態系被害防止外来種リスト)

## I クビアカツヤカミキリについて

### 1 形態と生態

クビアカツヤカミキリはカミキリムシ科 Cerambycidae-カミキリ亜科 Cerambycinae-アオカミキリ族 Calli-chromatini-ジャコウカミキリ属 *Aromia* に属し, 主にアジア大陸の中国, 朝鮮半島, ロシア極東部等に自然分布している。カミキリムシとしては大型種である本種は, 体躯と付属肢がおおむね艶のある黒色で, 前胸背板が赤色と黒色の二型が見られる (口絵①) が, 日本における発生個体群はいずれも前胸背板が赤色のタイプに属する。幼虫発生様式は一次性, 2~3年1化性で, モモ, ウメ, サクラ等のバラ科が主要な宿主樹ながら, ヤナギ類, イチイガシ, カシノキ, クワ等にも発生するとされる (GRESSITT, 1942; 胡ら, 2007)。

### 2 国内における警戒

2015年3月26日に農林水産省, 環境省から「我が国の生態系に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト (生態系被害防止外来種リスト)」が作成され, クビアカツヤカミキリもこのリストに加えられた。その選定理由は, 「IV (知見が十分でないものの, 近縁種と同様の生態を持つ種が明らかに侵略的であるとの情報があるもの, または, 近年の国内への侵入や分布の拡大が注目されている等の理由により, 知見の集積が必要とされているもの。)', 定着段階は「定着初期/分布限定」, 対策優先度の要件は「未評価」となっており, まだ情報不足が否めない状況である。本種の日本国内における分布情報の迅速な収集が急務と考えられる。

分布が拡大することでサクラだけでなく, モモやウメ等の農作物への加害も懸念される。

## II 群馬県および東京都での発生

### 1 調査方法

2015年7月19日, 26日, 31日に群馬県館林市, 7月25日に東京都福生市にて, 日本国内で確認されている被害樹種のソメイヨシノを主としたサクラ類およびウメの被害状況 (脱出孔, フラス排出), 並びに成虫の確認・捕獲を行った。本種のサクラに対する加害は加納ら